

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立二之江中学校

教科	美術		学年	2
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準	
ルネサンスが目指したもの	2	美術作品や文化遺産の良さについて考える。	・同じモチーフから様々な表現が生まれることを知り、材料や技法、空間に対する意識を高める。・感性や想像力を働かせて、自分の価値意識を大切にしながら美術作品や文化遺産のよさを感じ取ることができる。	
視点の冒険	2	透視図法を学び、空間や立体を表現する技法を学ぶ。	全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。	
部屋デザイン	8	透視図法を取り入れ、豊かに想像したイメージを発想する。	・構成美の要素、効果的な画面作りを意識し発想豊かに工夫ある構成をしている。・適切な図法の使い方や効果的な配色などを心がけ美しく表現している。	
木の性質	3	木の特性を学び、技術をみにつける	・彫刻の技法が身につくように、正しい手順で制作することができている。・適切な寸法で美しく彫刻することができている。	
八角鏡	11	伝統的な図柄や木材の特性を活かし、木彫での装飾をする。	・材料の良さや木彫の美しさを模様や図案に活かしている。・素材の特性を効果的に生かし、表現方法を工夫している。・木彫の技法を理解し、作品に効果的に取り入れている。	
日本の美しい伝統工芸品	3	自然や季節を感じる形や色彩に着目し、材料の特性を活かし構想を練り表現する	・和の図柄や日本の伝統的な表現に興味を持ち取り組んでいる。 ・生活の中にある工芸品の役割を意識しながら、構想を練っている。 ・材料の持つ色味や性質を活かし、効果を考えながら制作できる	
つくって使って味わう工芸	3	日本や諸外国の伝統工芸を学び、目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取る。	・デザインや工芸などの、目的や機能を考え表現された作品などから、造形的なよさや美しさ、機能性と美しさを調和させた表現のすばらしさを感じ取っている。・伝える、使うなどの目的や機能が形や色彩、材料とどのように調和して造形に美しく反映しているかなど幅広い視点で鑑賞を深めている	
日本の美しい伝統工芸品	3	自然や季節を感じる形や色彩に着目し、材料の特性を活かし構想を練り表現する。	・和の図柄や日本の伝統的な表現に興味を持ち取り組んでいる。 ・生活の中にある工芸品の役割を意識しながら、構想を練っている。 ・材料の持つ色味や性質を活かし、効果を考えながら制作できる。	